

学校お助け隊通信

創刊号

先生たちに“ちょっとほっとする”支援を届けます

発行 国際心理科学研究所
令和7年5月

特集 「学校お助け隊」とは

「学校お助け隊」は、心理の専門性を活かし、学校現場の“困った”に寄り添う支援チームです。

不登校、クラス運営、教職員のメンタルヘルス……

多くの課題を抱える学校において、教職員が「一人で抱え込まない」ための伴走者として活動しています。

私たちの役割は、相談を受けるだけではありません。教育委員会や学校と連携しながら、課題の見える化と支援体制の構築、そして教職員の「心のゆとり」を取り戻すサポートを行っています。

- ◎ 子どもに寄り添う時間を、先生に取り戻す。
- ◎ 組織で課題に向き合える仕組みをつくる。
- ◎ 「ひとりじゃない」を実感できる学校づくりへ。

学校の力を信じ、心理支援を通して、学校の中から変えていく。それが、私たち「学校お助け隊」の使命です。

次回の特集は、学校お助け隊の「不登校防止支援プログラム」をご紹介します。

私たちの目的

すべての人が心豊かに自立できるよう、教育・支援・環境づくりを通じて成長の基盤を築き、より良い社会の実現を目指します。

私たちの強み

心理、福祉、教育の各分野における専門家ネットワークを有しており、これらの知見を活かしたプロジェクトを展開することで、教育現場の課題解決に貢献します。

私たちの願い

不登校問題が深刻化する中、私たちは20年以上にわたって多様な教育相談に携わってきた経験から、子ども一人ひとりに寄り添うことの大切さ、そして教育現場の負担を軽減する必要性を強く感じてきました。

子どもたちの健やかな成長と、教職員にゆとりをもたらす新たな支援の仕組みをご提案いたします。



コラム 心理の窓 「春、まずは自分をととのえる」

新学期、子どもたちを迎える先生方は、準備に忙しく、気も張る時期ですね。

でも、こんな時こそ少し立ち止まり、自分の心を整える時間も大切にしてみてください。

「うまくやる」よりも「大丈夫と思える自分」でスタートを。

朝の数秒、深呼吸するだけでも気持ちは軽くなります。

「今日はここまでできた」と、自分に声をかけるだけでも安心感が生まれます。

まずは自分をととのえること。

それが、子どもたちにも伝わるやさしい空気を生み出します。

お知らせ

「学校お助け隊通信」は、もうすぐ当社のホームページ上でもご覧いただけるようになります。

心理支援に関する情報などをお届けしてまいります。

ご関心のある方は、ぜひホームページもチェックしてみてください！

成長×支援を届ける会社
株式会社 国際心理科学研究所
神奈川県川崎市麻生区上麻生 5-21-38
<https://int-psl.com/>

